

紙の保険証に代わる「資格確認書」 これまでと同じく毎年自動的に送付

「12月2日から原稿の健康保険証は発行されなくなります」という掲示物が、医院・病院や薬局の窓口に貼られているのを見て心配している方も多いのではないのでしょうか。

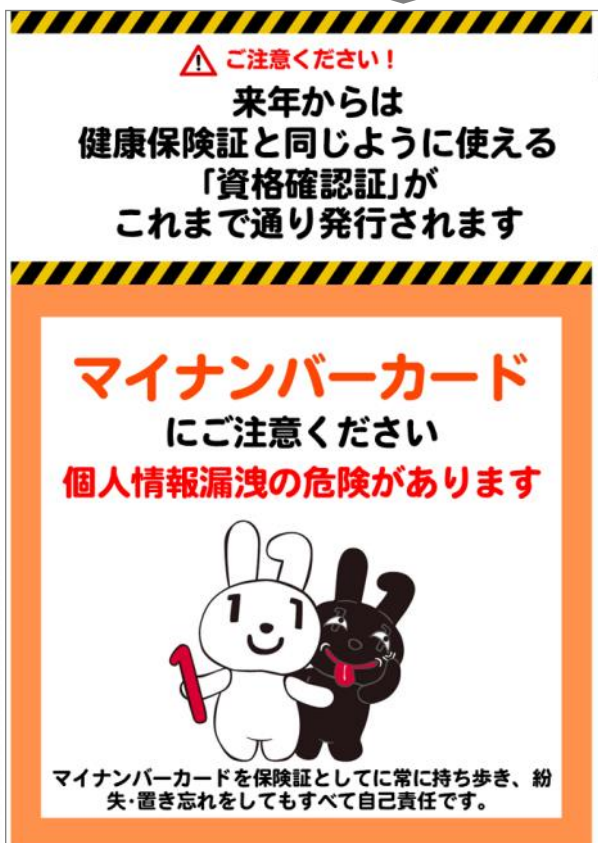
「今の保険証がなくなるのなら、気が進まないけどマイナンバーカードと保険証を一緒にしなくちゃいけないのかしら」と思ってしまいがちです。

でもご心配なく。まず、今の保険証は有効期限の来年7月31日まで何の問題も無く使えます。そして、期限が来ると、今の保険証とそっくりの「資格確認書」(名前が変わるだけ)が自動的に送られてきます。この「資格確認書」は、今の保険証と全く同じように使えます。ですから、マイナ保険証にする必要はありません。安心してお使いください。

ただし、マイナ保険証の利用登録をした人には、この「資格確認書」は届きません。今と同じように便利な紙の保険証(資格確認書)を使いたいという人は、市役所で「利用登録の解除」を申請しましょう。



ホントは



日本共産党上越市議員団ニュース
No.850 2024年11月24日
連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

これからの地方政治の 在り方を考える

上越三市議会合同研集会

上越市・妙高市・糸魚川市の各議会は、毎年秋に持ち回りで合同での研修会を行っています。

今年も16日に糸魚川市を会場に行われ、新潟日報社相談役の小田敏三さんの講演を聴きました。

講演のテーマは、「これからの地方創生の伝言」というもので、人間田中角栄のこ



とを紹介しながら、これからの地方政治の在り方を考えるというものでした。話の中には、田中角栄が憲法改正を主張したのは、軍事力強化のためでなく、二度と戦争をしないためだったというエピソードもありました。このエピソードの真偽はともかく、田中角栄は賄賂、土地転がしなど、金権政治の権化とも言われ、ついに逮捕・訴追されましたが、少なくとも最近の総理大臣のように大軍拡を無理矢理進めるようなことはしなかったようです。(イラストは橋爪議員)

全国では多くの市で実施中 免許返納したら終身無料パス 日常の移動手段確保考えると必要な政策

いまやクルマは日常正確に欠かせない道具の一つです。しかし、クルマは同時に凶器になることもあり、事故に遭うと日常生活そのものを失ってしまうことになりかねません。

こうしたジレンマの解決方法の一つとして、運転免許を返納すると、運転免許証返納者に限定して、終身無料の乗車券を提供している自治体があります。

たとえば栃木県の例では、鹿沼市(「リバス・予約バス」終身無料乗車券)、小山市(「おーバス」終身無料乗車券)、真岡市(デマンドタクシーとコミュニティバスの共通無

料乗車券・無期限)などの発行が取り組まれています。

上越市では、免許返納者にバス・タクシー券を配布していましたが、「バス・タクシー券の配布は、免許返納のきっかけになっていない」として、現在は行っていません。

しかし、免許を返納すると、日常の移動手段の確保がままなりません。それを考えると、必要な政策とも言えます。

はじめから免許を持っていない人も高齢になったら対象にすることを含めて、もう一度考えなおすべきではないのでしょうか。